

かつてない、
秘仏集結。

国宝

智証大師諡号1100年記念　特別展

三井寺のすべて

Special Exhibition Commemorating 1,100 Years Since the Bestowal of Monk Enchin's Posthumous Title

National Treasures of Miidera Temple

2027 4.20 TUE(火) – 6.13 SUN(日)

TNM 東京国立博物館 平成館［上野公園］
TOKYO NATIONAL MUSEUM (Ueno Park)

主催：東京国立博物館、三井寺、NHK、NHKプロモーション、読売新聞社

重要文化財　如意輪観音菩薩坐像　平安時代・10～11世紀　滋賀・三井寺蔵／重要文化財　不動明王立像（黄不動尊）　鎌倉時代・13世紀　滋賀・三井寺蔵／国宝　智証大師坐像（中尊大師）　平安時代・10世紀　滋賀・三井寺蔵／
重要文化財　勧学院客殿障壁画 四季花木図（部分）　狩野光信筆　安土桃山時代・慶長5年（1600）　滋賀・三井寺蔵

TSUMUGU 継プロジェクト

本展の収益の一部は、「紡ぐプロジェクト」における文化財の修理事業に充てられます。

国宝

智証大師諡号1100年記念　特別展

三井寺のすべて

Special Exhibition Commemorating 1,100 Years Since the Bestowal of Monk Enchin's Posthumous Title

National Treasures of Miidera Temple

展覧会概要

東京国立博物館 平成館にて、2027年4月20日［火］から6月13日［日］まで、智証大師諡号1100年記念　特別展「国宝 三井寺のすべて」を開催いたします。天台寺門宗総本山である園城寺は、飛鳥時代に創建された滋賀県を代表する古刹です。近江八景では「三井晩鐘」で知られるとおり、「三井寺」の名でも親しまれています。平安時代、第5代天台座主を務めた智証大師円珍（814～891）により天台別院として中興されて以来、幾多の戦乱に遭いながらも、復興により乗り越え、今日まで法灯を伝えてきました。

令和9年（2027）は円珍が醍醐天皇より智証大師号を授かって1100年の節目にあたり、これを記念して円珍ゆかりの寺宝の数々を一堂に公開する展覧会を開催いたします。

三井寺とは

飛鳥時代、壬申の乱で敗れた大友皇子の子与多王が「田園城邑」、みずからの領地を寄進して一寺を創建し、天武天皇から「園城」の勅額を賜わったことに由来し、園城寺と号します。一方で、境内に湧出する清水が、天智天皇、天武天皇、持統天皇の産湯に用いられた伝承により「御井」の寺とも呼ばれ、三帝にちなむことから転じて「三井寺」の名でも親しまれてきました。平安時代に智証大師円珍が入寺してからは天台寺院として発展し、たびかさなる戦乱を乗り越えてきたことから「不死鳥の寺」とも称されます。



三井寺 金堂

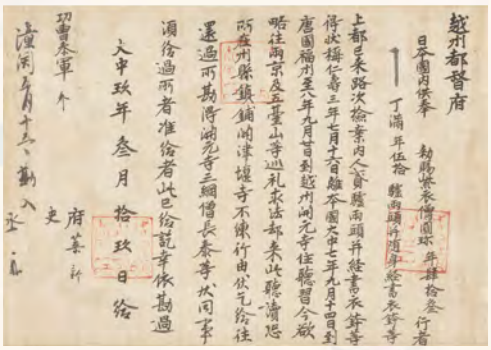
みどころ

1. 三井寺とその礎を築いた名僧 円珍を紹介する、およそ20年ぶりの展覧会！
2. 現存最古のパスポート（過所）をはじめとした貴重な円珍文書を公開！
3. 狩野永徳の長男、光信の傑作「勧学院客殿障壁画」を再現展示！
4. めったにお目にかかれない三井寺の秘仏が集結！

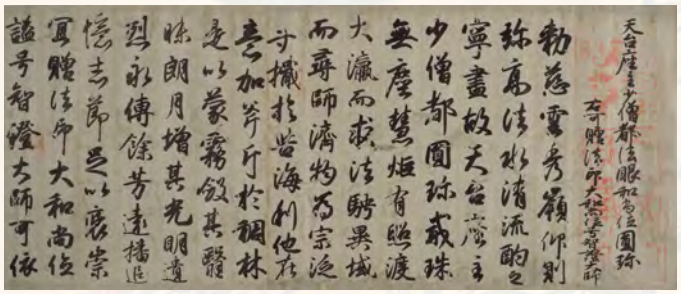
第1章　智証大師円珍

智証大師円珍（814～891）は、讃岐国（現香川県）生まれ。比叡山で修行し、入唐求法（にっとうぐほう）の旅を経て、天台宗の発展に尽くしました。その旅で円珍が得た経典、渡航に際して発給された公文書、そして自筆の文書など、奇跡的に現存する円珍ゆかりの文書群は、9世紀の日本・中国の歴史文化を鮮明に伝えています。本展では、ユネスコ「世界の記憶」に登録されたこれら円珍文書の世界を一挙公開します。円珍が請来した天台密教や、その生涯にまつわる信仰とあわせてご覧ください。

［第1節］円珍文書でたどる生涯



国宝　過所のうち　越州都督府過所
唐時代・大中9年（855）　滋賀・三井寺蔵
【前期】



国宝　円珍贈法印大和尚位並智証大師諡号勅書（部分）
小野道風筆　平安時代・延長5年（927）　東京国立博物館蔵
【通期】

［第2節］円珍の伝えた仏法



重要文化財
訶梨帝母倚像
鎌倉時代・13世紀　滋賀・三井寺蔵
【通期】



重要文化財
不動明王坐像
盛忠作
平安時代・長和3年（1014）
滋賀・三井寺蔵
【通期】

第2章　三井寺の歩み

飛鳥時代、当地の豪族によって琵琶湖に臨む地に建立され、天智天皇による大津宮遷都とあわせて発展した三井寺。平安時代に円珍が入寺して以降は天台宗の別院となりました。その没後、正暦4年（993）に三井寺を本拠と定めた円珍派は、天台寺門宗として独立して今日まで法灯を保っています。本章では、寺内に伝えられた仏像や仏画、法具に加えて、源氏以来の篤い信仰を寄せた足利氏ゆかりの品々から、三井寺の歩みをたどります。



重要文化財
十一面観音菩薩立像
平安時代・9世紀
滋賀・三井寺蔵
【通期】

第3章　障壁画の優美なる世界

三井寺の学問所として知られる勧学院客殿の障壁画は、豪壮華麗な桃山絵画を生み出した狩野永徳の長男、狩野光信（1565～1608）の代表作として知られています。また、光浄院には光信と同じ頃の狩野派絵師、法明院には江戸時代に活躍した円山応挙や池大雅、鶴沢派の絵師たちが描いた障壁画が伝えられています。本章では、勧学院客殿障壁画の再現展示によって、その優美なる世界を体感いただきながら、三井寺の子院を彩った絵師の競演をお楽しみください。

［第1節］勧学院客殿障壁画



重要文化財
勧学院客殿障壁画
四季花木図（部分）
狩野光信筆　安土桃山時代・慶長5年（1600）
滋賀・三井寺蔵
【通期】※このうち「梅、檜および花卉図」4面のみ5月11日～6月13日



重要文化財
勧学院客殿障壁画
花鳥図（部分）
狩野光信筆
安土桃山時代・慶長5年（1600）
滋賀・三井寺蔵
【通期】

［第2節］光浄院客殿障壁画



重要文化財
光浄院客殿障壁画
花鳥図（部分）
安土桃山時代・慶長6年（1601）
滋賀・三井寺蔵
【通期】

［第3節］法明院障壁画



法明院障壁画
山水図
円山応挙筆　江戸時代・18世紀
滋賀・三井寺蔵
【前期】

第4章　秘仏集結

三井寺では、固く扉を閉ざし、普段は公開されない秘仏が人々の信仰を集めてきました。円珍が修行中に目にした金色の不動明王である黄不動尊、唐からの帰国中に現われた新羅明神、幼少から加護を得た護法善神といった、円珍の生涯にまつわる秘仏。さらに、円珍その人の最古の肖像や、円珍が唐から請来した秘宝である五部心観から、西国三十三所霊場の札所本尊である如意輪観音に至るまで、三井寺を代表する秘仏が一堂に集結します。



国宝
五部心観（完本）（部分）
唐時代・9世紀　滋賀・三井寺蔵
【前期】



重要文化財
如意輪観音菩薩坐像
平安時代・10～11世紀
滋賀・三井寺蔵
【通期】



重要文化財
不動明王立像（黄不動尊）
鎌倉時代・13世紀　滋賀・三井寺蔵
【通期】



国宝
智証大師坐像（中尊大師）
平安時代・10世紀　滋賀・三井寺蔵
【通期】

展覧会アンバサダーは、俳優の井浦新さん！

俳優の井浦新さんが、本展のアンバサダーに就任し、音声ガイドも担当します。井浦さんは、2014年に智証大師円珍の生誕1200年慶讃記念事業の一環として、三井寺の境内や仏像などを撮影した写真展を同寺の観音堂で開催するなど、三井寺と深い関係を築いてきました。三井寺の歴史や文化に親しんできた井浦さんが、展覧会の魅力を伝えます。



展覧会アンバサダー
井浦新さん

メッセージ

初めて三井寺を訪れたのは、円空仏に導かれての参詣でした。その後、ありがたいことにご縁をいただき、写真展「三井寺鑽仰」を開催していただきました。一年間通いつめ様々な行事や四季を撮影させていただけたことは、忘れられない経験となりました。他にも「国宝 光浄院客殿ライトアップ」のアートディレクションを務めさせていただきました。この様な貴重な経験を通して、この場所に息づく自然や歴史、祈りと向き合ってきました。境内に身を置くたび、目に見える美しさの奥に、長い年月をかけて人々が守り伝えてきたものの気配を感じます。

このたび、展覧会アンバサダーとして再び三井寺に関われることを、心からうれしく思います。三井寺から集う名宝や秘仏。その姿に宿る祈りや、今へとつながる時間を、皆さまと感じられたらと思います。一つの作品の前で足を止め、それぞれの心に響く出会いを楽しんでいただけたら幸いです。

井浦 新

Profile

1974年9月15日 東京都生まれ。
1998年、映画「ワンダフルライフ」に初主演。以降、映画を中心にドラマ、ナレーションなど幅広く活動。
また映画館を応援する「MINI THEATER PARK」、アパレルブランド〈ELNEST CREATIVE ACTIVITY〉ディレクター、サステナブル・コスメブランド〈Kruhi〉ファウンダーを務めるなど、その活動は多岐にわたる。



三井寺 境内空撮（中院）

国宝

智証大師諡号1100年記念　特別展

三井寺のすべて

Special Exhibition Commemorating 1,100 Years Since the Bestowal of Monk Enchin's Posthumous Title

National Treasures of Miidera Temple

開催概要

展覧会名　智証大師諡号1100年記念　特別展「国宝 三井寺のすべて」

会　　期　2027年4月20日（火）～6月13日（日）
【前期】4月20日（火）～5月16日（日）　【後期】5月18日（火）～6月13日（日）

休 館 日　月曜日 ※ただし、4月26日、5月3日、5月31日、6月7日は開館
（5月31日、6月7日は本展のみ開館。東博コレクション展は休館日のため観覧不可）

開館時間　9時30分～17時00分
※毎週金・土曜日および5月2日（日・祝）、5月3日（月・祝）、5月4日（火・祝）は20時00分まで開館
※入館は閉館の30分前まで

会　　場　東京国立博物館 平成館（上野公園）

主　　催　東京国立博物館、三井寺、NHK、NHKプロモーション、読売新聞社
特別協力　文化庁
協　　力　TOPPANクロレ

公式サイト　https://tsumugu.yomiuri.co.jp/miidera2027/
お問い合わせ　050-5541-8600（ハローダイヤル、午前9時～午後8時）

※観覧料金などの情報は、今後展覧会公式サイト等でお知らせします。
※展示作品、会期などは今後諸事情により変更する場合があります。
※会期中、一部作品の展示替えを行います。

報道関連のお問合せ先

特別展「国宝 三井寺のすべて」広報事務局（共同ピーアール株式会社内）
担当：三井
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア10F
Tel：03-6264-2382／E-mail：miidera2027-pr@kyodo-pr.co.jp